

### 3 交替制勤務・2 交代制勤務における職務満足度の比較

窪之内 麻未 Mami KUBONOUTI      中田 菜摘 Natsumi NAKATA

北見赤十字病院 看護部  
Nursing Department, Kitami Red Cross Hospital

**要旨：**【目的】3 交代・2 交代制勤務者の職務満足度等を比較し、交代制勤務の違いが与える勤務者の満足度への影響を検討することを研究の目的とした。

【方法】研究参加者は、3 交代制勤務（夜勤時間 8 時間）の 6 病棟の看護師・准看護師 165 名、2 交代制勤務（夜勤時間 16 時間）の 2 病棟の看護師・准看護師 58 名。交代制勤務に従事していない看護師は除外した。調査方法は、Stamps らの尺度を修正した山下の「看護婦の職務満足尺度」7 構成要素 25 項目に加え、日本看護協会が挙げる健康・安全・生活の 3 つのリスクに関連した 12 項目と現在の勤務体制の満足度を尋ねた 1 項目を作成し、計 38 項目、5 段階評定の調査用紙を作成した。分析方法は、単純集計後、両勤務者の平均合計得点と項目ごとの平均得点を t 検定（有意水準 5%未満）した。

【結果】全体の職務満足度の平均得点は 79.3 点で、構成要素の「人間相互関係」が最も高く、「看護管理」「自己発展」が最も低かった。2 交代制勤務で職務満足度の「自己発展」の平均得点が有意に高かった。2 交代制勤務で健康・安全・生活関連の 6 項目の平均得点が有意に高かった。2 交代制勤務で現在の勤務体制の満足度が有意に高かった。

**キーワード：**3 交代制勤務 2 交代制勤務 職務満足度

## I. 序 論

現在、当病院では一部の病棟で変則 2 交代制勤務が実施されている。2 交代制勤務を導入する病院が急激に増加した背景には、1992 年の診療報酬改定において、基準看護承認要件に「2 交代も差し支えない」<sup>1)</sup> という一項が加えられたことが挙げられると言われている。当院看護部では、看護職員の時間外勤務が多く、3 交代制勤務の場合夜勤回数が 9 回以上となる事もあり疲労につながるといった意見や、夜勤時間が規定の 72 時間以内を連続してクリアできていない部署があるなどといった問題があった。しかし、病院経営上、看護師を増員することが難しく、時間外勤務を減らす、夜勤回数を少なくする、夜勤時間数を 72 時間以内にする、コスト削減（タクシー代・

時間外手当) をする、休みの深夜入りと準夜明けの休みを改善することを目的に、平成 22 年 9 月から変則 2 交代制勤務の導入が試験実施される運びとなった<sup>2)</sup>。

当院看護部は、2 交代制勤務が導入された病棟に疲労度調査を実施したが、交替制勤務に関する満足度調査や職務満足度調査は実施していない。交替制勤務と職務満足度の関連性においては、山下の研究では「夜勤回数が増すにつれ、職務満足度を表すスコアは低くなっている」「月の夜勤回数が、看護婦の職務満足度に影響する事がわかった」<sup>3)</sup> と述べられていた。しかし、岩本の研究では、夜勤回数との関係で負の相関は示されず<sup>4)</sup>、山下の結果と異なっていた。岩本は、「多様な体制をとるようになり、夜勤回数の看護婦の職務満足への関連に変化が生じていると考えら

れる。夜勤体制の変化による看護ケア、看護婦の労働状態への影響についての評価は始まったばかりであり、今後も看護婦の職務満足への影響の調査が必要である<sup>4)</sup>と述べていた。また、尾崎は、「看護者の職務満足が患者の満足度を高め、病院管理や経営にも良い影響を与えることになる<sup>5)</sup>と述べており、職務満足度を調査し、それを高めることは重要であるといえる。

このように、交替制勤務と職務満足度との関連性について述べられている先行研究はいくつかある<sup>3) 4) 7) 8) 9)</sup>が、同一施設内において3交替制・2交替制で働く看護師の職務満足度を比較し調査している研究は少ない。

本研究では、3交替制・2交替制勤務者の職務満足度等の違いを比較することによって、交替制勤務の違いが勤務者の満足度にどのように影響を与えるのかを明らかにしたいと考えた。

## II. 研究目的

3交替・2交替制勤務者の職務満足度等を調査し、両者の違いを比較することで、交替制勤務の違いが与える勤務者の満足度への影響を検討する。

## III. 研究方法

1. 研究デザイン：量的記述研究デザイン
2. 研究参加施設  
北見赤十字病院で3交替制勤務（夜勤時間8時間）を実施している6病棟と2交替制勤務（夜勤時間16時間）を実施している2病棟
3. 研究参加者  
3交替制勤務病棟に勤務する看護師・准看護師165名と2交替制勤務病棟に勤務する看護師・准看護師58名。尚、パート看護師、日勤専従・夜勤専従など、交替制勤務に従事していない看護師は除外した。
4. データ収集期間  
平成24年10月9日～10月23日
5. 調査用紙の作成  
看護職者を対象とした職務満足度研究

でも最も歴史が長く、使用頻度が高いスタンプらの「病院勤務の看護師を対象にした職業への満足度」の測定尺度を山下がさらに修正した「看護婦の職務満足尺度<sup>2)</sup>」を使用した。この尺度は7構成要素25項目からなり、信頼性、妥当性ともに確認されており、内的整合性はクロンバック $\alpha = 0.82$ で、因子分析ではスタンプらと同じく7つの因子が生成されている。5段階のリックートスケールで得点化し、1項目1点（全くそうは思わない）から5点（全くそうだと思う）、合計得点25点から125点となる。質問項目の「看護婦」は「看護師」に、「婦長」は「師長」に、「主任」は「係長」に変更して使用した。また、交替制勤務による違いが大きい夜勤がもたらすリスクとして、日本看護協会が挙げる健康・安全・生活の3つのリスクに関連した項目等<sup>6)</sup>を研究者自らが考え追加し、計38項目の調査用紙を作成した。

6. データの収集方法  
師長会にて研究参加病棟師長に調査趣旨の説明と協力を依頼し、研究者が各病棟へ配布、回収箱は各ナースステーション内に設置した。2週間留め置き、研究者が箱を回収した。
7. データの分析方法  
各調査項目を単純集計し、3交替制と2交替制勤務者の平均合計得点と各項目の平均得点をt検定（Welchの方法も含む）で比較した。構成要素は山下の結果をそのまま使用した。統計的解析にはエクセル統計2008を使用した。

## IV. 倫理的配慮

研究参加者には文書によって研究の目的・方法、協力の依頼を説明した。また、協力は自由意志であり、協力を得られない場合でも何ら不利を被ることはなく、データから個人が特定されないよう処理すること、データの保存は研究者の鍵付きロッカーにて行うこと、調査票は研究が終了した時点でシュレッター処理を施すこと、研究結果は院

内外の発表の予定であること、調査用紙の回答を持って同意を得ることなどを記載した。回答は無記名で、記入後のアンケート用紙は封筒に密封できるようにし、研究参加者が自由に参加・回答できるように回収箱を設置し、研究者が無意識であれ記入の強要をしないように配慮した。

## V. 結 果

3交替制勤務を導入している6病棟と2交替制勤務を導入している2病棟の計223名に調査用紙を配布した。194名より回答が得られ、回収率は87.0%であった。すべての項目に記載がある175名を有効回答とし、有効回答率は90.2%であった。

### 1. 対象者の属性 (表1参照)

年齢は、20代が最も多く58名(32.9%)で、次いで30代、40代、50代以上の順であった。3交替制での経験年数は平均10.9年で、2交替制は平均1.1年と3交替制が圧倒的に長かった。現在の勤務体制は、3交替制127名、2交替制48名で、過去2ヶ月の平均夜勤回数は3交替制7.7回、2交替制4.2回であった。家族構成は独居が60名、平均3人家族の同居が115名であった。

表1 対象者の背景

| 属性項目         | 全体  | 3交替制   | 2交替制       | 単位    |
|--------------|-----|--------|------------|-------|
| 年代           |     |        |            |       |
| 20歳代         | 58  | 41(32) | 17(35)     | 名(%)  |
| 30歳代         | 46  | 35(28) | 11(23)     | 名(%)  |
| 40歳代         | 43  | 28(22) | 15(31)     | 名(%)  |
| 50歳以上        | 28  | 23(18) | 5(18)      | 名(%)  |
| 平均3交替制勤務経験年数 |     |        | 10.9(±9.5) | 年(SD) |
| 平均2交替制勤務経験年数 |     |        | 1.1(±2.8)  | 年(SD) |
| 現在の勤務体制      |     | 127    | 48         | 名     |
| 過去2ヶ月の平均夜勤回数 |     | 7.7    | 4.2        | 回     |
| 家族構成         |     |        |            |       |
| 独居           | 60  | 43(34) | 17(35)     | 名(%)  |
| 同居           | 115 | 84(66) | 31(65)     | 名(%)  |
| 平均家族人数       | 3.0 | 3.0    | 3.2        | 人     |

### 2. 看護師職務満足度と3交替制・2交替制の比較 (表2参照)

構成要素別では、「人間相互関係」(平均3.6点)が高く、次いで「仕事の保障」(平均

3.5点)、「看護に対する熱意・真剣度」(平均3.3点)、「専門職としての自律」(平均3.2点)、「医師・看護師間の関係」(平均3.1点)、「看護管理」「自己発展」(平均2.8点)が最も低かった。3交替制と2交替制の各設問(1~25)の平均得点と合計得点をt検定した結果、「4.昇進の機会がある」、「5.看護師としての勉強会など自己発展の機会がある」で有意差を認め、2交替制の方が満足度は高かった。

表2 職務満足度と3交替制・2交替制の比較

| 構成要素         | 設問  | 全体<br>n=175 | 3交替制<br>n=127 | 2交替制<br>n=48 | 3と2交替<br>の比較* |     |
|--------------|---|-------------|---------------|--------------|---------------|-----|
| 専門職としての自律    | 1. 看護師としての自信がある   | 2.7         | <b>2.8</b>    | 2.6          |               |     |
|              | 2. 師長、係長、同僚、患者のいずれから認められている                             | 2.8         | <b>2.9</b>    | 2.7          |               |     |
|              | 3. 患者の世話など仕事そのものは上手いっている                                | 3.3         | 3.3           | 3.2          | 3.4           |     |
|              | 17. 仕事と私生活は両立出来ている                                      | 3.2         | 3.1           |              | <b>3.4</b>    |     |
|              | 23. 看護業務では、自分の判断が活かされている                                | 3.4         | 3.3           |              | <b>3.5</b>    |     |
| 看護管理         | 25. 患者ケアは、自分の判断・決断・責任において実施出来ている                        | 3.5         | 3.5           |              | <b>3.6</b>    |     |
|              | 6. 病院、病棟内の規則には満足している                                    | 3.0         | 3.0           | 3.0          |               |     |
|              | 8. 環境・労働時間などの条件は良い                                      | 2.9         | 2.9           | 2.9          |               |     |
|              | 15. 給料やボーナスは妥当だと思う                                      | 2.6         | 2.8           | 2.5          | 2.7           | 2.7 |
|              | 24. 私がやりたいと思っような患者ケアをするためには、時間が足りている                    | 2.5         | 2.5           |              | <b>2.6</b>    |     |
| 人間相互関係       | 7. 技術面での指導・監督は行きとどいて                                    | 3.2         | 3.2           |              | <b>3.3</b>    |     |
|              | 9. 師長、係長との人間関係は上手いっている                                  | 3.7         | 3.6           | 3.6          | 3.7           |     |
|              | 10. 同僚との人間関係は上手いっている                                    | 3.7         | 3.7           |              | <b>3.8</b>    |     |
|              | 12. 患者・家族との人間関係は上手いっている                                 | 3.7         | <b>3.7</b>    |              | 3.6           |     |
| 医師・看護師間の関係   | 11. 私の病棟では、医師は看護職員に協力的である                               | 3.2         | 3.2           | 2.9          |               |     |
|              | 16. 医師から(記録されている情報も含む)、患者の状態・病名は詳しく知らされている              | 3.2         | 3.1           | 3.1          | <b>3.3</b>    |     |
|              | 20. この病棟の医師は、看護師という職業に対して正しく認識し理解している                   | 2.9         | 2.9           |              | <b>3.0</b>    |     |
|              | 18. 定年まで看護師として働きたい                                      | 2.9         | <b>2.9</b>    |              | 2.8           |     |
| 看護に対する熱意・真剣度 | 19. 看護師の仕事を大切にしている                                      | 3.8         | 3.8           |              | <b>3.9</b>    |     |
|              | 21. 患者のケアに必要であれば勤務時間外でも働く                               | 3.7         | 3.3           | 3.7          | 3.3           | 3.9 |
|              | 22. 看護師という職業の向上のためであれば(看護協会活動、院内での記録、検診会など)、勤務時間外でも取り組む | 2.9         | 2.9           |              | <b>3.1</b>    |     |
|              | 4. 昇進の機会がある   | 1.9         | 1.8           | 2.7          | <b>2.3</b>    | **  |
| 自己発展         | 5. 看護師としての勉強会など自己発展の機会がある                               | 3.7         | 3.6           | 4.1          | <b>4.1</b>    | **  |
|              | 13. 現在の地位に満足している  | 3.6         | 3.6           |              | 3.6           |     |
|              | 14. 解雇されるのではないかと不安はない                                   | 3.4         | 3.5           | 3.5          | 3.4           | 3.5 |
| 合計平均得点       |   | 79.3        | 78.6          | 81.1         |               |     |

a) 対応のないt検定 \*\*; p<0.01

### 3. 健康・安全・生活に関連する項目と3交替制・2交替制の比較 (次頁表3参照)

「安全」について(平均3.0点)が最も高く、次いで「生活」(平均2.8点)、「健康」(平均2.7点)であった。3交替制と2交替制の各設問(26~37)の平均得点と合計平均得点をt検定した結果、「27.睡眠は十分にとれている」「33.休息・仮眠時間は規定通りにとれている」「37.現在の通勤方法が一番安全である」「31.余暇や趣味のための時間に満足している」「32.家族と過ごす時間は十分にとれている」「36.勤務希望は出しやすい」と合計平均得点に有意差を認め、2交替制の方が、リスクを低く感じ、満足が高かった。

表3 健康・安全・生活関連項目と3交替制・2交替制の比較

| 設問                              | 全体    |     | 3交替制       |     | 2交替制       |     | 3と2交替の比較 <sup>a)</sup> |
|---------------------------------|-------|-----|------------|-----|------------|-----|------------------------|
|                                 | n=175 | 要素別 | n=127      | 要素別 | n=48       | 要素別 |                        |
| 26. 身体の休息はとれている                 | 2.6   |     | 2.6        |     | <b>2.8</b> |     |                        |
| 27. 睡眠は十分にとれている                 | 2.7   |     | 2.6        |     | <b>3.0</b> |     | *                      |
| 健康                              |       |     |            |     |            |     |                        |
| 28. 身体の苦痛や疲労は感じていない             | 2.3   | 2.7 | 2.2        | 2.7 | <b>2.4</b> | 2.9 |                        |
| 29. 精神的な苦痛や疲労は感じていない            | 2.4   |     | 2.3        |     | <b>2.5</b> |     |                        |
| 30. 現在、通院治療中の病気はない              | 3.7   |     | 3.7        |     | <b>3.8</b> |     |                        |
| 33. 休憩・仮眠時間は規定通りにとれている          | 3.0   |     | 2.9        |     | <b>3.3</b> |     | *                      |
| 安全                              |       |     |            |     |            |     |                        |
| 34. 過去2ヶ月間にインシデント・アクシデントは起きていない | 2.8   | 3.0 | <b>2.8</b> | 3.0 | 2.7        | 3.1 |                        |
| 35. 時間外勤務時間は少ない                 | 2.6   |     | <b>2.8</b> |     | 2.5        |     |                        |
| 37. 現在の通勤方法が一番安全である             | 3.7   |     | 3.5        |     | <b>4.0</b> |     | **                     |
| 31. 余暇や趣味のための時間に満足している          | 2.6   |     | 2.5        |     | <b>2.9</b> |     | *                      |
| 生活                              |       |     |            |     |            |     |                        |
| 32. 家族と過ごす時間は十分にとれている           | 2.7   | 2.8 | 2.5        | 2.7 | <b>2.9</b> | 3.2 |                        |
| 36. 勤務希望は出しやすい                  | 3.2   |     | 3.0        |     | <b>3.7</b> |     | **                     |
| 合計平均得点                          | 34.1  |     | 33.2       |     | 36.4       |     | *                      |

a) 対応のないt検定 (Welchの方法含む) \* : p<.05, \*\* : p<.01

#### 4. 現在の交替制勤務の満足度

設問「38. 現在の交替制勤務に満足している」は、全体では平均 3.2 点で、3 交替制では平均 2.9 点、2 交替制では平均 3.9 点で、3 交替制と 2 交替制の平均得点を t 検定した結果、有意差を認めた (p<.01)。

## VI. 考 察

#### 1. 職務満足度と 3 交替制・2 交替制勤務の比較

今回の職務満足度調査の結果、「人間相互関係」に対する満足が最も高く、「看護管理」と「自己発展」が最も低かった。これは、山下<sup>2)</sup>の結果と同様で、岩本<sup>3)</sup>の結果にも近いものであった。調査年度が 20 年近く前であっても、職務満足度の結果に大きな変化はなかった。「看護に対する熱意・真剣度」や「仕事の保障」も比較的高く、上司・同僚・患者・家族との関係性が看護に対する熱意や仕事の保障と相互に影響しあっていると考えられる。平均得点の低い「看護管理」については、岩本が言っていたように、「専門職としての給与の在り方、大きく育児を担いながら働く看護婦の労働条件の改善は依然として望まれるところ」<sup>3)</sup>であり、現在も同じような課題を抱えていることがわかった。

3 交替制と 2 交替制を比較すると、25 項目中 15 項目で 2 交替制の平均得点が高かった。

特に、有意差があった「自己発展」の中でも「5. 看護師としての勉強会など自己発展の機会がある」は最も高い平均得点となっていた。有意差はなかったが「17. 仕事と私生活の両立

は出来ている」も 3 交替制と比べると高く、2 交替制では夜勤明けに休日が必ずつき、連休がとりやすいことから、私生活でのまとまった

時間が 3 交替制よりも確保できることで、両立がしやすいと感じ、自分の時間を自己発展のための時間にもあてることができているのではないかと考える。

3 交替制の方が高かった項目は、「1. 看護師として自信がある」「2. 師長、係長、同僚、患者のいずれから認められている」「11. 私の病棟では、医師は看護職員に協力的である」であった。看護師の年代構成は 2 交替制と大きく変わらず、経験年数などの影響とは考えにくい。

#### 2. 健康・安全・生活関連項目と 3 交替制・2 交替制勤務の比較

一番高かった「安全」関連にある「37. 現在の通勤方法が一番安全である」と、一番低かった「健康」関連にある「30. 現在、通院治療中の病気はない」は同じ平均得点で、最も高かった。反面、同じ「健康」関連でも「28. 身体の苦痛や疲労は感じていない」は最も低く、「29. 精神的な苦痛や疲労は感じていない」も次に低かったため、健康のリスクがあることを示していた。

3 交替制と 2 交替制を比較すると、6 項目で 2 交替制勤務の方が有意に平均得点は高かった。2 交替制では夜勤 16 時間の勤務中 90 分の休憩・仮眠しか認められていないが、職務満足度で述べたように連休が取りやすいことから、睡眠時間や余暇・趣味のための時間、家族と過ごす時間が確保されていると考えられる。「37. 現在の通勤方法が一番安全である」についても、深夜の通勤がない 2 交替制で当然高くなっていた。しかし、夜勤・交代制勤務や長時間勤務はインシデントの発生リスクが増す<sup>6)</sup>と言われているように、「34. 過去 2 か月間にインシデント・アクシデントは起きていない」「35. 時間外勤務時間は少ない」はどちらも平均得点はやや低めで差はなかった。両勤務体制にメリット・デメリットがあるため、得点の低い項目については改善し、得点が高い項目を活かした勤務体制を検討していくことが必要ではないかと考える。

### 3. 現在の勤務体制の満足度

「38.現在の勤務体制に満足している」では2交替制の方が有意に高かった。職務満足度、健康・安全・生活関連双方で2交替制の得点が高かった項目が多かったためと考える。

### 4. 研究の限界と看護への適用

今回の結果は、一施設だけの単年度のものであり、地域性などの違いや病院の役割・経営状況、看護部方針などによっても影響を受けると考える。今後も継続して調査し、検討を重ねる必要があるが、今回の結果をもとに、夜勤のリスクをマネジメントし、患者の満足につながるような看護師の職務満足を向上させていくためのよりよい勤務体制への改善が期待できると考える。

## Ⅶ. 結 論

1. 全体の職務満足度の平均得点は79.3点で、構成要素の「人間相互関係」が最も高く、「看護管理」「自己発展」が最も低かった。
2. 2交替制勤務で職務満足度の「自己発展」の平均得点が有意に高かった。
3. 2交替制勤務で健康・安全・生活関連の6項目の平均得点が有意に高かった。
4. 2交替制勤務で現在の勤務体制の満足度が有意に高かった。

## 文 献

- 1) 友納理緒・阿部俊子：二交替制と三交替制どっちが働きやすい？エキスパートナース，2003；19(13)：108-109
- 2) 北見赤十字病院看護部：勤務体制の変更について，院内資料，2009
- 3) 山下美根子：看護婦の職務満足度に関する研究．看護管理，1995；5(3)：191-195
- 4) 岩本幹子：看護婦の職務満足度：いかに組織は看護婦を定着させるか，北海道大学医療技術短期大学部紀要，1998；11：69-77
- 5) 尾崎フサ子：看護における職務満足度の要因．看護，2003；55(13)：40-43
- 6) 日本看護協会．夜勤・交代制勤務の3つのリスク，[http://www.nuse.or.jp/nursing/practice/shoroanzen/jikan/02\\_02.html](http://www.nuse.or.jp/nursing/practice/shoroanzen/jikan/02_02.html)(2012年7月5日)
- 7) 安藤里子・箕浦とき子・佐藤清江 他：看護職員の職務満足度の比較研究—業務改善・変則二交替制実施前後の変化—．日本看護学会集録 看護管理，1996；27：93-96
- 8) 坂中えみ子・菅谷章子・今井きよ子：二交替制導入による看護職員の疲労と職務満足および生活への影響 共済医報 2000；49：161
- 9) 柘植範子・野澤里美・遠藤里花・斎藤紋子：勤務体制別にみた看護師の精神健康状態と職務満足度．日本看護学会論文集 看護管理，2007；38：30-32
- 10) Yamashita, M. : Job satisfaction in Japanese nurses. 1995, JAN ; 22 : 158-164